

Subject : **Japanese**

Production of Courseware  
e- Content for Post Graduate Courses



Paper No. 02 : **日本語学 (Japanese Linguistics)**

Module 20 : **副詞 (Adverb)**



ज्ञान-विज्ञान विमुक्तये



### Development Team

**Principal Investigator:** **Prof. Anita Khanna**  
Jawaharlal Nehru University, New Delhi

**Paper Coordinator:** **Prof. Prashant Pardeshi**  
The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

**Content Writer:** **Dr. Yasunari Imamura**  
The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)


**Content Reviewer:** **Prof. Shingo Imai**  
University of Tsukuba

Japanese

Japanese Linguistics

副詞 (Adverb)

Description of Module	
Subject Name	Japanese
Paper Name	日本語学 (Japanese Linguistics)
Module Title	副詞 (Adverb)
Module ID	JPN-P02-M20
Quadrant 3	Learn More

 **Pathshala**  
पाठशाला  
A Gateway to All Post Graduate Courses

Japanese

Japanese Linguistics

副詞 (Adverb)

### Quadrant 3: Learn more

さんこうぶんけん

#### 参考文献

- 今井新悟 (編著) (2011) 『日本語多義語学習辞典 形容詞・副詞編』 アルク.
- 小野正弘 (編) (2007) 『日本語オノマトペ辞典』 小学館.
- 小野正弘 (2009) 『オノマトペがあるから日本語は楽しい—擬音語・擬態語の豊かな世界』 平凡社.
- 国立国語研究所 (編) (1991) 『副詞の意味と用法』 (日本語教育指導教科書 19) 国立国語研究所.
- 五味太郎 (2004) 『日本語擬態語辞典』 講談社.
- 田守育啓 (2002) 『オノマトペ 擬音・擬態語をたのしむ』 岩波書店.
- 仁田義雄 (2002) 『副詞的表現の諸相』 くろしお出版.
- 飛田良文・浅田秀子 (1994) 『現代副詞用法辞典』 東京堂出版.
- 飛田良文・浅田秀子 (2002) 『現代擬音語擬態語用法辞典』 東京堂出版.
- 日向茂男・日比谷潤子 (1989) 『擬音語・擬態語』 (外国人のための日本語 例文・問題 シリーズ 14) 荒竹出版.
- 益岡隆志・田窪行則 (1992) 『基礎日本語文法—改訂版』 くろしお出版.
- 三上京子 (2006) 「日本語教育のための基本オノマトペの選定とその教材化」 『ICU 日本語教育研究 3』 pp.49-63, ICU 日本語教育研究センター紀要.

## Interesting facts (オノマトペと音象徴)<sup>おんしょうちょう</sup>

たんご おんせい い み あいだ ひつぜんてき かんけい たと にほんご いぬ い  
 単語の音声と意味の間には必然的な関係はない。例えば日本語で inu (犬) という

どうぶつ えいご ご い おんせい い み あいだ  
 動物を英語では dog, ヒンディー語では kuttā という。このように、音声と意味の間に

ひつぜんてき かんけい げんごきごう しいせい い  
 必然的な関係がないことを「言語記号の恣意性 (arbitrariness of language)」という。

しかし、オノマトペでは音声<sup>おんせい</sup>が象徴<sup>しょうちょうてき</sup>的な意味<sup>い み</sup>を表<sup>あらわ</sup>すことがあり (音象徴<sup>おんしょうちょう</sup>,

sound symbolism), 音声と意味<sup>おんせい い み</sup>の間に自然な関係<sup>あいだ しぜん かんけい</sup>が感じられる点<sup>かん</sup>が特異<sup>てん とくい</sup>である。いく

つか例<sup>れい</sup>を挙<sup>あ</sup>げる。

◆促音<sup>そくおん</sup> (っ) は「スピード感<sup>かん</sup>」「瞬時性<sup>しゅんじせい</sup>」「急な終わり方<sup>きゅう お かた</sup>」を表<sup>あらわ</sup>す。

でんしゃ と の  
 ・電車にさっと飛び乗る。

しごと しあ  
 ・(仕事などを) ぱっと仕上げる。

し と き くる  
 ・死ぬ時は苦しまずにころっといきたい。

◆「お (o)」は「不明瞭な音<sup>ふめいりょう おと</sup>」「こもった音<sup>おと あらわ</sup>」を表<sup>あらわ</sup>す。

かれ はな なに い  
 ・彼はもごもご話すので、何を言っているのかわからない。

こ ころ あたま ゆか  
 ・子どもが転んで頭<sup>あたま</sup>を床<sup>ゆか</sup>にごっつんとぶつけた。

◆ 「さ」や「す」は「滑<sup>なめ</sup>らか<sup>あらわ</sup>さ」を表す。

たま けつえき  
• 玉ねぎは血液をさらさらにするそうだ。

じゅうたい うご くるま よこ とお  
• 渋滞で動かない車の横をバイクがすいすい通っていく。

あか はだ き も  
• 赤ちゃんの肌はすべすべで気持ちいい。

\*\*\*\*\*

